

# Urban Safari

[アーバンサファリ]

May.2018 Vol.04

Cover Story  
アーミー・ハマー

May The Great Watch  
Be with You!

価値ある時計とともに。

# Paul Thomas Anderson

ポール・トーマス・アンダーソン

文＝猿渡由紀  
text: Yuki Saruwatari

## “エレガント”な男が織りなす ‘50年代ロンドンのファッション。

生まれも育ちもLA。映画監督としても、「ブギーナイツ」「マグノリア」など、LAが舞台の作品で評価を高めていった。そんなポール・トーマス・アンダーソンが、「ファントム・スレッド」でヨーロッパのファッション界を描く。それも、パリやミラノではなく、'50年代のロンドンというやや意外な設定だ。

「当時、素敵なことは全部パリで起こっていたんだ。ロンドンのファッションが多少なりとも語られるようになったのは、'60年代になって、ビートルズやカーナビーストリートが出てきてからだ。戦後の苦しい状態にあった'50年代は、王家のためでもない限り、ドレスを作る余裕なんてなかったのさ。歴史の忘れられている部分というもまた、僕にとってはとっても面白かったんだよね」

服を作るという地味な作業が果たして絵になるのかという疑問も多少抱いていたアンダーソンは、この映画をゴシックロマンスにすると決める。

「男は全部をコントロールしたがる気難しいヤツで、女は彼に献身的。だが、女がそんな状態に疲れたらどうなるのか？自分も正当に扱われるべきだと思ったとき、彼女は、これまたゴシックロマンスによく出てくる手段を取るんだ」

その男、レイノルズを演じるのは、今作をもって引退を表明しているダニエル・デイ＝ルイス。今をときめくチュールデザイナーであるレイノルズのキャラクターは、アンダーソンとデイ＝ルイスが、イチから一緒に作り上げていった。

「レイノルズが着る服に関しては、彼と衣装デザイナーが2人で決めた。僕はほかのことで忙しいし、ときどき覗いては「いいんじゃない？」と言う程度だったよ。今作にはダニエルのセンスが相当に発揮されている。彼とレイノルズのスタイルは結構共通するよ。ひとことで形容するなら“エレガント”だね」

### 『ファントム・スレッド』

セレブ御用デザイナー、レイノルズに見初められたウエイトレスのアルマ。身勝手で、結婚はしないと切り切る彼に業を煮やした彼女はいる日……。

原題:『Phantom Thread』

監督:ポール・トーマス・アンダーソン

出演:ダニエル・デイ＝ルイス、レスリー・マンヴィル、ウィッキー・クリーブス

## Contents

- 08 Cover Story アーミー・ハマー
- 11 in Your Closet
- 18 価値ある腕時計にはストーリーがある。
- 21 Foujita's CHAMPAGNE
- 28 上品でスマートな旅バッグがあればリゾートファッションも見違える。
- 32 Great EXPLORE
- 35 Inflight Dining by STAR CHEF
- 37 Car Brands Support YACHT RACE
- 38 15th Anniversary COCKTAIL
- 39 Safariを読むなら、定期購読をおすすめします!

発行人 Publisher

神原達弥

Tatsuya Sakakibara

編集長 Editor in Chief

藤原 晃

Akira Fujiwara

広告部長 Advertising Director

成井 毅

Tsuyoshi Narui

コントリビューティング・エディター&ライター  
Contributing Editors & Writers

糸田麻里子

Mariko Itoda

遠藤 匠

Takumi Endo

大嶋 慧子

Keiko Oshima

九島辰也

Tatsuya Kushima

古関千恵子

Chieko Koseki

猿渡由紀

Yuki Saruwatari

柴田 充

Mitsuru Shibata

たかせ藍沙

Aisha Takase

真下武久

Takehisa Mashimo

渡邊ひかる

Hikaru Watanabe

アートディレクター

Art Director

藤澤拓也

Takuya Fujisawa (ANAGUMA)

デザイナー

Designer

渋江裕子

Yuko Shibue (ANAGUMA)

発行

株式会社日之出出版

〒104-8505 東京都中央区八丁堀4-6-5

編集部 ☎03-5543-1135

広告部 ☎03-5543-1139

●本誌掲載商品の価格表示は

すべて本体のみ(税抜き)の価格です。

●本誌内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。

●本誌の編集内容に関するお問い合わせは

編集部直通 ☎03-5543-1135

までお願いいたします。

なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

い まやすっかり市民権を得た“イケメン”なる表現。これを用いるのが心苦しいほど整った顔立ちに、2m近くに及ぶ高い身長。しかも、曾祖父は石油王で、父親も著名な実業家。アーミー・ハマーは明らかに恵まれた星の下に生まれた男だ。だが、そんな彼にすら容易にチャンスを与えはしないのがハリウッド。両親の反対を押し切ってハイスクールを中退し、演劇学校に通いはじめる17歳に待っていたのは厳しい洗礼だった。

「オーディションを受けては、不合格になる毎日だったよ。

挫折の連続だね。『背が高すぎる』

『瞳の色が気に入らない』『髪の毛の質感がイメージとは違う』『雰囲気合わない』なんて、否定されてばかりだった。でも、人生で重要なのは挫折をどう乗り越えるか。それを後の日々はどう生かすかだと思う。僕は粘り強いタイプだしね。大抵の人は役者を5~6年目指して4000回もオーディションに落ちたら諦めるだろうけど、僕は決して諦めなかった。根気にはちょっと自信があるから」

根気が衰り、子供時代から密かに憧れ続けた世界で注目を集めはじめたのは、Facebookの創設者マーク・ザッカーバーグを主人公にした映画『ソーシャル・ネットワーク』のとき。ザッカーバーグと因縁関係にあるエリート双子兄弟を1人2役で演じ、一躍ライジングスターとなった。そこからの説明は、映画ファンには不要だろう。一度のチャンスさえ掴めば道は開けるもので、続く『J・エドガー』はクリント・イーストウッド監督作にしてレオナルド・ディカプリオ共演作。ジョニー・デップ共演の痛快西部劇『ローン・レンジャー』では、タイトルロールを堂々と演じた。この作品の公開時には、2度のプロモーション来日も果たしている。しかし、「映画ファンには説明不要」と述べたように、万人に知られるトップスターへの道はまだ遠い。出演作を自由自在に選べるスターは、それこそディカプリオやジョニー・デップらほんのひと握りの人間だ。

そんな中、さらなるステップアップを望んでチャレンジを求めたアーミーは、『ALONE/アローン』の脚本に出会う。物語の舞台は、地雷の埋まった砂漠。主人公は、地雷を踏んで身動きが取れなくなってしまったアメリカ軍兵士。救助部隊が到着するまで52時間、兵士は水も食料も限られた状況を生き抜かなくてはならない。『ひとつの場所で繰り返される単純なストーリーだし、僕はただずっと膝をついていればいいだけだと思ったんだ』と笑いながら、脚本を手にした当時は振り返るアーミー。もちろん、読み進めるうちに、彼はその考えをすぐさま覆す。

「ロケは主に1カ所です。砂漠で身動きできない状況が物語の7割を占める。並行して主人公の過去が描かれてはいくけど、ワンシチュエーションを飽きさせず、興味深い物語として観客に届けなくてはならない。コンセプトが面白い反面、チャレンジングな役になるだろうと思ったんだ」

まさに、求めていたチャレンジが到来。アーミーは作品に飛びつき、主演だけでなく製作総指揮にも名を連ねることに。そして、撮影がはじまるやいなや物理的に、精神的に、様々なチャレンジに直面することになる。

「最も困難だったのは自然の厳しさ。モロッコにある小さな島で撮影したんだけど、とにかく暑かった。大きな砂嵐にも悩まされたよ。そんな中、僕はおそらく1カ月半は右膝で跪いた状態だった。地面の砂がまるで紙やすりのように感じられたね。でも、一瞬も動けない主人公の状況は、彼自身の心を象徴するものでもある。前向きに生きる強さに欠けた彼は、身動きが取れなくなったことで自分自身と人生に向き合うんだ。前に進むためにね。心が折れそうになることもあったけど、過酷な撮影が演技に役立ったよ」

撮影が行われたのは、2014年。過酷な撮影と自分に課し

## PROFILE

1986年、米・カリフォルニア州生まれ。TVドラマ『ヴェロニカ・マーズ』や『ゴシップガール』に出演した後、『ソーシャル・ネットワーク』でトロント映画批評家協会賞助演男優賞を受賞。『白雪姫と鏡の女王』の王子役や『コードネーム U.N.C.L.E.』の敏腕スパイ、イリヤ・クリヤキン役などでも知られる。アメリカの最高裁判事ルース・ギンズバーグの夫を演じた『オン・ザ・ベッチス・オブ・セックス(原題)』をはじめ、公開待機作多数。2010年に結婚した妻との間に2人の子供がいる。

“He did found out back, he was then stuck in one place of land mine against his will, found that straight to past fear.

身動きが取れなくなったことで  
自分自身と人生に向き合うんだ。  
前に進むためにね。

——アーミー・ハマー

写真＝Corina Marie Howell 文＝渡邊ひかる  
photo:Corina Marie Howell/Contour by Getty Images text:Hikaru Watanabe

たチャレンジを乗り越えたアーミーは、黒人奴隷の苦闘を描く『バース・オブ・ネイション』、ほぼ全編ガンアクションが続く『フリー・ファイヤー』、デザイナーのトム・フォードが監督を務めた『ノクターナル・アニマルズ』、天才芸術家ジャコモッティの肖像画モデルを演じた『ジャコモッティ 最後の肖像』と、その後も様々なタイプの作品に出演。ディズニー&ピクサーの『カーズ/クロスロード』では、アニメの声優にも挑戦した。

それらの作品に共通するのは、やはりチャレンジとなるか否かだろう。そんな状況が確実にステップアップをもたらしていた2016年、彼は最大にして最高のチャレンジに巡り合う。

それが『君の名前で僕を呼んで』だ。'80年代北イタリアを舞台にした物語で、アーミーは17歳の少年と恋に落ち、その恋心と静かに向き合う22歳の青年オリヴァーを演じることに。「僕ら俳優はどんな役柄でも、演じる際は恐怖と不安を抱えるもの」と公開時のインタビューで語っていることからわかるように、オリヴァーは明らかに難役といえるキャラクターだった。

しかし、アーミーは見事な演技を披露し、ゴールデン・グローブ賞の助演男優賞にもノミネート。相手役を演じて大躍進を遂げた若手俳優ティモシー・シャラメともども昨年度映画賞レースの中心的存在となる。いづたい、演じる恐怖や不安をどのようにして拭い去ったのか。アーミーは「ハートを奪われるほど素敵な仲間と過ごし、物語を疑似体験する感覚になれたのがよかった」と共演者やスタッフを称賛している。

そんな彼の次なる挑戦はなんだろうか。こう思う間もなく、6月29日からは舞台『ストリート・ホワイメン(原題)』に立つことが決まっている。アーミーにとってはブロードウェイデビュー作となり、これまた大きなチャレンジになることは間違いないさぞうだ。

「僕自身、人生に立ちをはだかる壁に直面し、どう乗り越えたいのか、わからないときがあった。ひとつだけ確かなのは、前に進むには勇気がいるということ」

そういえば『ALONE/アローン』のインタビューで、こんなことも言っていたアーミー。チャレンジする勇気というもの、彼はきっと誰よりも知っている。

たチャレンジを乗り越えたアーミーは、黒人奴隷の苦闘を描く『バース・オブ・ネイション』、ほぼ全編ガンアクションが続く『フリー・ファイヤー』、デザイナーのトム・フォードが監督を務めた『ノクターナル・アニマルズ』、天才芸術家ジャコモッティの肖像画モデルを演じた『ジャコモッティ 最後の肖像』と、その後も様々なタイプの作品に出演。ディズニー&ピクサーの『カーズ/クロスロード』では、アニメの声優にも挑戦した。

それらの作品に共通するのは、やはりチャレンジとなるか否かだろう。そんな状況が確実にステップアップをもたらしていた2016年、彼は最大にして最高のチャレンジに巡り合う。

それが『君の名前で僕を呼んで』だ。'80年代北イタリアを舞台にした物語で、アーミーは17歳の少年と恋に落ち、その恋心と静かに向き合う22歳の青年オリヴァーを演じることに。「僕ら俳優はどんな役柄でも、演じる際は恐怖と不安を抱えるもの」と公開時のインタビューで語っていることからわかるように、オリヴァーは明らかに難役といえるキャラクターだった。

しかし、アーミーは見事な演技を披露し、ゴールデン・グローブ賞の助演男優賞にもノミネート。相手役を演じて大躍進を遂げた若手俳優ティモシー・シャラメともども昨年度映画賞レースの中心的存在となる。いづたい、演じる恐怖や不安をどのようにして拭い去ったのか。アーミーは「ハートを奪われるほど素敵な仲間と過ごし、物語を疑似体験する感覚になれたのがよかった」と共演者やスタッフを称賛している。

# ARMIE HAMMER

【アーミー・ハマー】

『ALONE』



暗殺任務に失敗して退却を余儀なくされた米軍兵士マイク(ハマー)が、砂漠で地雷を踏んでしまうサバイバルシリアー。1mmも動けない状況下で、自身の人生と向き合うマイクの孤独なドラマが展開する。監督はイタリアの新鋭ユニット、ファビオ・レジーナロ&ファビオ・グアリーネ。●6月16日より、新宿シネマカリテほか全国ロードショー

©2018 Mew Canarus Air Redbury Energy Srl Film Srl Mew Film Ltd.



in Your

**CLOSET\*****サマータイムをお気に入りの1本と過ごす。**

強い日差しに白く溶け出した陽炎を追って、クルマを走らせる。夏の避暑地にはどこかアバンチュールの気配が漂い、心もざわつく。いつもの時計が刻む時も艶めいて感じるのだ。そんなサマータイムが今はじまる。

写真=野口貴司 スタイルング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 文=柴田 充 構成=大嶋慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN) hair&make-up: Megumi Matsumoto(es\*QUISSE)  
text: Mitsuru Shibata composition: Keiko Oshima

## WATCH

### パテック フィリップの“カラトラバ 5227”

真夏の手元には、清涼感漂うシンプルな三針タイプがいい。〈パテック フィリップ〉の“カラトラバ 5227”は、ドレスウォッチのスタイルを崩すことなく、現代的なセンター秒針やカレンダーを備えた1本。そして薄型にもかかわらず、ケースに精細なヒンジを備え、裏蓋が開閉する。本来のダストカバーはよりエレガントになり、その奥には精緻なムーブメントと夏の高揚感を秘めるのだ。

腕時計、ケース径39mm、自動巻き、18K WGケース、アリゲーターストラップ。379万円(パテック フィリップ/パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター)、スーツ17万6000円(ベルヴェスト/八木通商)、シャツ2万8000円(バルバ/エストネーション)

in Your

## CLOSET\*

夏の旅だからこそドレスアップを楽しむ。

たとえサマーリゾートであってもジャケットは忘れない。それは決してドレスコードなどという堅苦しきではなく、大人のお洒落を楽しむため。その余裕がリラックスを生み、周囲にも清々しく映ることだろう。

JAEGER-LECOULTRE / ジャガー・ルクルト JAMES PERSE / ジェームス パース Belvest / ベルヴェスト Chrome Hearts / クロムハーツ



## JACKET

ベルヴェストの  
“黒ブレザー”

## WATCH

ジャガー・ルクルトの  
“ジャガー・ルクルト ポラリス・オートマティック”

## EYEWEAR

クロムハーツの“サングラス”



## T-SHIRT

ジェームス パースの  
“リサイクル ヘンリー T”

D  
クラシックリバイバルの傾向の中、アイウェアもオーセンティックなポストンタイプが人気を呼ぶ。これにやや薄色のレンズを合わせるのがこの夏の気分だ。〈クロムハーツ〉は、テンプルにブランドのアイコンであるモチーフを施し、これを側面だけでなく、前面にあしらうことで存在感をさらに増す。

サングラス10万6000円(クロムハーツ/クロムハーツ トーキョー)、ジャケットはC、TシャツはBと同じ

C  
その軽い仕立てから“ジャケット・イン・ザ・ボックス”と名づけられた〈ベルヴェスト〉の代表作。人気の金ボタンのブレザーはネイビーではなく、あえてブラックを選ぶのが大人の遊び心だ。モヘア混のサマーウールは、ドレスシーでいて清涼感も味わえ、カジュアルにもタイドアップにも合う。

ジャケット20万円(ベルヴェスト/エストネーション)、サングラスはD、TシャツとパンツはB、腕時計はAと同じ

B  
ここ数年トレンドでもあるヘンリーネックのカットソーは、ポロカラーとクルーネックの中間として、畏まらず、ルースに感じさせない適度なバランスを保つ。〈ジェームス パース〉は国産のリサイクル素材を使用し、軽く、サラッとした着心地が楽しめる。ロングスリーブもシックな雰囲気を出す。

ヘンリーネック ロングTシャツ2万1000円、中に着たTシャツ8000円(以上ジェームス パース/ジェームス パース 青山店)、パンツはスタイルスト私物、腕時計はAと同じ

A  
夏を感じさせるダイバーズでも気品を求めるなら〈ジャガー・ルクルト〉の“ポラリス・オートマティック”がいい。1968年製のアラームダイバーズをモチーフに、機能とスタイルを受け継ぎ、ヴィンテージの風格はつけた瞬間から手に馴染む。端正ですっきりした文字盤からは、エレガンスも薫る。

腕時計、ケース径41mm、自動巻き、SSケース、カーフストラップ。74万円(ジャガー・ルクルト)、ジャケットはC、パンツはBと同じ

in Your

## CLOSET\*

旅の記憶をスポーティなスタイルに刻みこむ。

非日常に身を置き、自由に心を解放させるのが旅の醍醐味だ。時計は、そんな瞬間を自分だけのトラベルタイムとして実感させてくれる。そしてスポーティなフェイスを見るたび、夏の旅の記憶が色あざやかに甦る。

## WATCH

ヴァシュロン・コンスタンタンの  
“オーヴァーシーズ”

世界の三大高級時計ブランドに挙げられる(ヴァシュロン・コンスタンタン)でも、旅をテーマにしたスポーティなスタイルを持つ。写真のラバーのほか、アリゲーターストラップとSSブレスレットをセットし、専用工具を使わず、簡単に付け替えることができる。旅先でもスポーツアクティビティやディナーの席などシーンやファッションに合わせて、異なるテイストが楽しめる。ブラックの文字盤は、最近コレクションに加わったばかりの新作。

腕時計、ケース径42.5mm、自動巻き、SSケース、ラバーストラップ。321万円(ヴァシュロン・コンスタンタン)、ジャケット7万7000円(ヘルノ/ヘルノ・ジャパン)、ヘッドフォン 実勢価格6万7000円(マスターアンドダイナミック/アユート) ※実勢価格は編集部調べ

in Your

## CLOSET\*

夏の旅を演出してくれる選りすぐりの逸品。

荷物をそぎ落とすほど、旅は気分とともに軽やかになる。それでも様々なシーンを想定し、旅荷を揃えるのが楽しい。それもまた旅なのだから。そしてお気に入りの逸品がより自分らしい夏の旅を演出してくれる。



KNIT  
クルチアーニの  
“サマーニット”



CORKSCREW  
ティファニーの  
“ダイヤモンド ポイント コークスクリュー”



SANDAL  
サントーニの“ERIK”



SHORTS  
インコテックスの  
“コットンショーツ”

D

サンダルは、いまやビーチだけでなく、街でも違和感のないサマーシューズになった。〈サントーニ〉は洗練に磨きをかけ、サマーリゾートの男の足元をさらにエレガントに演出する。シンプルなスタイルながら、甲の部分を広く取ることで、ほかにはない上品かつスマートな美足シェイプを生むのである。

サンダル9万8000円(サントーニ/リエート)

C

カシミアやアルパカをミックスしたメランジならではの豊かな風合いに、ターコイズブルーの美しい発色が楽しめる。リネンの配合による独自の光沢は日差しの下にも映え、サラッとした着心地とともに涼しげに映る。イタリア屈指の名門ブランド〈クルチアーニ〉らしい洒落なサマーニットだ。

ニット6万2000円、Tシャツ2万3000円(以上クルチアーニ/ストラスブルゴ)、ショーツはBと同じ、その他はスタイリスト私物

B

創業60年以上の歴史を誇るイタリアのパンツ専門ブランド〈インコテックス〉の手にかかると、カジュアルなショートパンツにもエレガンスが薫り立つ。ゆったりとした腰まわりから膝上までの美しいシルエットに加え、洗いがかった通気性のよいコットン素材はまさに快適。夏のリゾートにふさわしい。

ショーツ3万円(インコテックス/ストラスブルゴ)、ニットはC、サンダルはDと同じ、帽子はスタイリスト私物

A

たとえ脇役のような存在でも、それがないだけですべてが立ち行かない道具がある。ワインのコルク抜きもそのひとつ。〈ティファニー〉は、シンボルともいえるスターリングシルバーで、これにスポットを当てた。クラシカルなスタイルも気品を感じさせる。このこだわりが旅を盛り上げてくれる。

コークスクリュー 6万4000円(ティファニー/ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク)

名作キャリバー誕生20周年を祝う“スペシャル”モデル。

1960年の誕生以来、最高峰の時計を目指し進化を続けてきた(グランドセイコー)。その歴史の中で大きなエピソードとなったのが、1998年の(グランドセイコー)専用キャリバー9Sの開発だった。そして今年、その20周年を記念するモデルが登場した。搭載されているのは、ハイビートの10振動キャリバー9S85。このブランドの規格では、スイスのクロノメーター検定を凌ぐ平均日差+5~-3秒(静的精度)と定められているが、この記念モデルではさらに精度を追求し平均日差+4~-2秒(静的精度)を実現。文字板上の“SPECIAL”の文字が誇らしくそれを物語る。初代9S搭載モデルを手掛け、ウォッチデザイナー初の現代の名工にして、黄綬褒章の栄誉にも輝いた小杉修弘による新ケースデザインも特筆に値する。日本の技術の粋を凝らした力作といっい。



GRAND SEIKO

[グランドセイコー]

メカニカルハイビート36000 スペシャル規格

写真の時計は、全国のグランドセイコーマスタートラップでの取り扱いで限定150本。また、1500本限定のSSケース&ブレスタイプ(65万円)も発売中。ケース径39.5mm、自動巻き、YGケース、クロコダイルストラップ、10気圧防水。280万円(グランドセイコー/セイコーウォッチお客様相談室)

伝わってくるのはドイツの名門復興への思い。

第二次大戦後、社業の中断を余儀なくされたドイツ時計の名門(A.ランゲ&ゾーネ)が、東西ドイツ統一を受けて復興を果たしたのは1990年のこと。その立役者で、創業者フェルディナント・アドルフ・ランゲのひ孫に当たるウォルター・ランゲが、昨年1月17日この世を去った。その92年の生涯を称え、1815“ウォルター・ランゲへのオマージュ”が発表された。1秒ごとにステップ運針する、スタート・ストップ機能付きジャンピングセコンドを備える。この複雑機構は、創業者F.A.ランゲが1867年に開発し、2代目のエミール・ランゲが実用化して懐中時計に搭載した、ランゲ家の歴史を象徴する機構のひとつ。シンプルな外観でありながら、技術的に意義のある複雑機構を搭載したモデルが、故人を偲ばせる。名門に受け継がれてきた技術力と復興への努力に思いを馳せたい。



A. LANGE & SÖHNE

[A.ランゲ&ゾーネ]

1815 “ウォルター・ランゲへのオマージュ”

ブルースチールの針も美しいシンプルデザイン。YGケースモデル(27本限定)、WGケースモデル(145本限定)も用意。写真はピンクゴールドケースで限定90本。9月以降発売予定。ケース径40.5mm、手巻き、PGケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水。予定価格534万円(A.ランゲ&ゾーネ)

独自素材“ザリウム”で綴るクリエイティブな連作。

新素材開発は、最近の時計業界の大きなテーマ。(ハリー・ウィンストン)は、ジルコニウムを主成分とし、耐久性、耐腐食性に優れ、軽量かつ低アレルギー性の特殊合金ザリウムを独自に開発。2004年からこの素材を採用したシリーズ“プロジェクト Z”をスタートさせ、斬新なデザインとともに、新素材開発においてもリーダー的な存在感を示してきた。第12作となる“プロジェクト Z12”では、これまでの同シリーズを象徴するオフセンターや非対称エレメントに代わり、同心円や対称性をデザインに導入。マンハッタンブリッジを彷彿とさせるセンターブリッジの上半分にジャンピング・レトログラード・アワー(時)、下半分にレトログラード・ミニッツ(分)を搭載。スポーティで遊び心あふれるアプローチの中にも、高級時計の文法がしっかりと押さえられている。



HARRY WINSTON

[ハリー・ウィンストン]

プロジェクト Z12

デニムのように加工されたカーフスキンが、大人カジュアルにもよく馴染む。限定300本。10月発売予定。ケース径42.2mm、自動巻き、ザリウムケース、カーフスキン+ババストラップ、10気圧防水。予定価格285万円(ハリー・ウィンストン/ハリー・ウィンストン クライアントインフォメーション)

大人を魅了するのは上質さだけではない。価値ある腕時計にはストーリーがある。

それなりのビジネスマンともなると、身なりに気遣うはず。そして時計も然り。選んだ時計を見れば、その人の仕事に取り組む姿勢やライフスタイルが窺えるというものだ。今回ここでご紹介する時計は、その時計自体に物語が詰まったモデル。時を確認するたびに蘇るストーリーに、大人は思いを馳せる。

文=まつあみ編 text=Yasushi Matsumi

パイロット時計の神髄を新生(ブライトリング)で味わう。

時計の名門ブライトリング社が、生まれ変わった。英国の投資ファンド傘下となり、新たにジョージ・カーンをCEOに迎え、体制を一新。そして誕生した第1弾コレクションが“ナビタイマー 8”である。ナビタイマーといえば、回転計算尺を備えたウォッチとして認識されている向きもあるだろうが、この新作は1952年に初代ナビタイマーが誕生する以前の1930~40年代の航空計器を着想源とする。ある意味、(ブライトリング)の歴史をさらに掘り下げたコレクションといえるだろう。その中で、この“ナビタイマー 8 ユニタイム”は、自社開発・製造のキャリバー、Cal.B35を搭載したワールドタイマー機能の1本。スポーティなテイストとクラシックなスマートさが絶妙に融合し、世界を舞台上に活躍するビジネスマンの手元にもフィットしそうだ。



BREITLING

[ブライトリング]

ナビタイマー 8 ユニタイム

ジェットセッターにはとって役立つ1本。文字盤カラーは写真のブラックとシルバーの2色展開で、今秋発売予定。プロフェッショナルIIIブレスレット仕様(91万円)も用意。ケース径43mm、自動巻き、SSケース、アリゲーターストラップ、10気圧防水。88万円(ブライトリング/ブライトリング・ジャパン)

月の裏側へのロマンをかきたてる手巻きモデル。

アポロ11号の宇宙飛行士たちとともに月面にたどりついた時計として、あまりにも有名な(オメガ)スピードマスター。毎年新作や限定モデルが登場し、伝説を今へと繋いでいる。今年は、人類史上はじめて月を周回する軌道に乗り、月の裏側を目撃したアポロ8号のミッションから50周年を記念する新作が登場。ケースは漆黒の宇宙空間を思わせるブラックセラミック製。オープンワーク文字盤から見えるブラックカラーの地板には、クレーター状の装飾を施し、月の表側を表現している。一方、シースルーバックでは、月の裏側がイメージされている。あえて超高耐磁性を誇る最新鋭の“マスタークロノメーターキャリバー”ではなく、月面に赴いた当時のキャリバーの流れを汲む、手巻きのCal.1869が搭載されていることも心憎い。月面へのロマンは、いまだに消えることはない。



OMEGA

[オメガ]

スピードマスター ダークサイド オブ ザ ムーン アポロ8号

ケースの裏蓋には、アポロ8号の司令船操縦士ジム・ラヴェルの言葉“WE'LL SEE YOU ON THE OTHER SIDE”が刻印されている。8月発売予定。ケース径44.25mm、手巻き、ブラックセラミックケース、ブラックレザー×メイローパストラップ、50m防水。104万円(オメガ/オメガお客様センター)

超薄型ドレスウォッチをリードしてきたプライド。

1957年に超薄型の手巻きキャリバー9Pを世に送り出して以来、(ピアジェ)は薄型ドレスウォッチをリードし続けてきた。2014年には、ムーブメントとケースとを一体化した独自の構造による、厚さわずか3.65mmの“アルティブラノ900P”を発表。機械式手巻き腕時計の世界最薄記録を塗り替えた。それから4年を経た今年、これを発展させた世界最薄自動巻き腕時計“アルティブラノアルティメート・オートマティック”を発表。通常の自動巻きローターに代わり、文字盤外周をリング状の22K製ローターが回転してぜんまいを巻き上げる、ペリフェラルローター機構を採用し、ケース厚はわずか4.3mm。シャツのカフスにひっかからない薄さだけでなく、エレガントな美しさも追求されている。超薄型のスペシャリストの歴史に、またひとつ“勲章”が加えられた。



PIAGET

[ピアジェ]

アルティブラノ アルティメート・オートマティック

前面からムーブメントの動きが鑑賞できるデザインもユニーク。PGケースタイプも用意されており、こちらは予定価格312万5000円。ともに6月以降の発売予定。ケース径41mm、自動巻き、WGケース、アリゲーターストラップ、2気圧防水。予定価格325万円(ピアジェ/ピアジェ コンタクトセンター)

2人の紳士の友情から誕生した革新的な時計。

航空界のバイオニアとして、その名を歴史に刻むアルベルト・サントス=デュモン。彼が、友人であるルイ・カルティエに「懐中時計では飛行中に時間を確認するのが困難。いい手段はないか?」と相談を持ちかけ、初の実用的な男性用腕時計が誕生する。それが1904年のこと。角型のフォルムや、あえてビスを見せるデザインなども革新性に満ちていた。そのDNAを受け継ぐ“サントス ドゥカルティエ”が、今年、大胆に生まれ変わった。ケースやベゼルが流麗なアールを描き、ブレスレットとの一体感を高めたことに加え、新開発の“クイックスイッチシステム”により、レザーストラップにも簡単に付け替えが可能に。ブレスレットのサイズも、ワンリンク単位で調整できるのは嬉しい。革新的にしてエレガントなライフスタイルを愛する男のための時計が、華麗に進化を遂げた。



CARTIER

[カルティエ]

サントス ドゥ カルティエ LM

写真のLMサイズのほか、35.1×41.9mmのMMサイズの2サイズ展開。YGケース、PGケース、YGベゼル×SSケース仕様も用意される。ケースサイズ39.8×47.5mm、自動巻き、SSケース&ブレス(レザー×ストラップも付属)、10気圧防水。74万円(カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター)



# Foujita's CHAMPAGNE\*

親愛なるレオナルド・フジタに捧げる特別なシャンパーニュ。

最高峰のシャンパーニュ「メゾン マム RSRV (アール・エス・アール・ヴィ) ロゼ・フジタ」。画家のレオナルド・フジタへのオマージュとして登場したが、彼と「メゾン マム」との関係性とは？

文=糸田麻里子  
text: Mariko Itoda



完成した「チャペル・フジタ」の除幕式が行われた1966年。その敷地内に訪れたフジタとルネ・ラルー。仲のよさが窺える当時の1枚。フジタはチャペルの設計に自ら携わり、壁のフレスコ画を80歳という年齢で描き上げた。

ラルーの「RSRV」は、「メゾン マム」の親しい仲間や愛好家たちに贈るための秘蔵のシャンパーニュを意味し、最高醸造責任者、ディエ・マリオッチが傑出したワインだけに与えた稀有なコードである。ここでフジタとマムの親密な関係の背景について説明したい。1886(明治19)年、東京に生まれた藤田嗣治は東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業後、1913(大正2)年、26歳でフランスに渡る。1920年代初頭に発表した乳白色に輝く肌の裸婦像は、どの流派にも属さない独自の表現として高い評価を得て、一躍画壇の寵児となった。その後、フジタと「メゾン マム」の社長であったルネ・ラルーは共通の友人を介して出会う。敏腕経営者である一方、芸術の愛好家としても名を馳せていたラルーは、フジタの才能を

高く評価。経済面でもフジタを支えた。2度の大戦を経て、フジタはラルーの尽力も手伝い、1955年にフランス国籍を取得。ラルーの依頼でバラの絵を描き、そのバラを纏った「コルドン ロゼ」はカンヌ映画祭でふるまわれ好評を博した。'59年、フジタはランスの大聖堂で「レオナルド・フジタ」という洗礼名を授かるが、そのときの代父(立会人)も実はラルーが務

めたというからその絆は深い。若き日に渡仏して以来、大半をフランスで過ごしたフジタ。その生涯にわたり「メゾン マム」と深い繋がりがあったのだ。2018年というフジタの没後50周年の節目。今年は全国で回顧展も開催される。これを機に、フジタの芸術を愛した「メゾン マム」のこだわりの結晶「RSRV ロゼ・フジタ」を味わってみては？



上:シャンパーニュ地方の中心、ランスで創業されたメゾン マム社。右上:218haの広大な畑を所有する 右下:石灰質の土壌を手作業で掘って造られたセラールの回廊は全長25kmに及ぶ

## MAISON MUMM RSRV ROSE FOUJITA

【メゾン マム RSRV ロゼ・フジタ】

6つのグラン・クリュが織りなす芳醇なロゼ。

フジタが描いたバラの絵がボトルネックに。30%シャルドネ、70%ピノ・ノワールに、グラン・クリュの赤ワインをブレンド。力強いアロマとふくよかな味わいにうっとり。1万2700円(ベルノ・リカール・ジャパン)

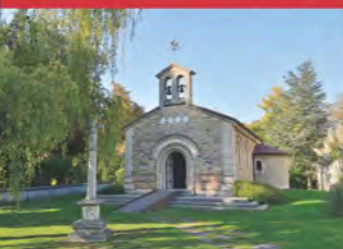


Léonard Foujita  
【レオナルド・フジタ】

左:大戦が終局に向かう頃のフジタ。戦後の好景気に合わせて絵の人氣は高まった。下:設計から内装まで自ら手掛けた「チャペル・フジタ」。内部のフレスコ画は見事。フジタ自身やルネ・ラルーが登場する作品も

## 「メゾン マム」の敷地内にある友情の結晶「チャペル・フジタ」。

フジタと「メゾン マム」の深い絆の象徴といえるのが、1966年、ルネ・ラルーの協力でランスにある「メゾン マム」の敷地内に建てられた「平和の母子礼拝堂(チャペル・フジタ)」。現在はフジタと君代夫人の墓がある。



# HARRY WINSTON

NYスタイルで魅せるのはいつも「ハリー・ウィンストン」。

知的でモダンな時計こそエグゼクティブにふさわしい。

NYで創業した「ハリー・ウィンストン」は、エグゼクティブの証とともに、自分らしさを大切にする男の象徴。個性豊かなスポーティデザインに、複雑機構を合わせ、ラグジュアリーな時を刻み続ける。

写真=正重智生 スタイリング=中川原 寛 文=柴田 充 構成=大嶋 輝子  
photo: Tomoo Syoju(BOLL) styling: Kan Nakagawara(Ca'N) text: Kenji Shibata composition: Keiko Oshima



## HW Ocean Biretrograde Automatic 42mm

【HW オーシャン・バイレトログラーード オートマティック 42mm】

力強い幅広ベゼルに、リュウズ横のアーチはNY5番街に位置する本店サロンのファサードをモチーフにする。スケルトンダイヤルには、立体的なオープンワークが施され、洗練されたモダンテイを醸し出す。ケース径42mm、自動巻き、18K RGケース、アリゲーターストラップ。455万円(ハリー・ウィンストン ハリー・ウィンストン クライアントインフォメーション)

エグゼクティブにとって、時計は自らを演出する重要なアイテムといえるだろう。そこには、大胆な発想やバイタリティ、そして唯一無二の個性が必要だ。そんな男たちが熱い視線を注ぐ時計が「HW オーシャン・バイレトログラーード オートマティック 42mm」。

受け継ぎ、ケース素材をザリウムからローズゴールドに変えることでエレガントな魅力を纏う。オフセットした時分針に、左右の赤い針は秒と曜日指し、レトログラーードの運針は見ているだけでも楽しい。オープンダイヤルに施されたデザインは、マンハッタンブリッジを思わせ、そこに挑戦を忘れない男の気骨ある姿を映し出すのだ。

## HW オーシャン20周年を記念したコレクションの新境地。



ラグジュアリースポーツを代表する「HW オーシャン・コレクション」が20周年を迎えた。これを記念した「HW オーシャン・20thアニバーサリー バイレトログラーード パーベチュアルカレンダー オートマティック 42mm」は、従来のパーベチュアルカレンダーが持つクラシカルな印象を覆す独創的なダイヤルデザイン。ケースには67個のバゲットカットダイヤモンドをあしらひ、ハイジュエラーの世界を創造する。11月発売予定。世界限定20本。ケース径42mm、自動巻き、18K WGケース、アリゲーターストラップ。予定価格1425万円(ハリー・ウィンストン/ハリー・ウィンストン クライアントインフォメーション)

# LOUIS VUITTON

〈ルイ・ヴィトン〉のユーモアのセンスは  
ゴールネットではなく心を揺らす!?

〈ルイ・ヴィトン〉とFIFAとの関係がはじまったのは、2010年の南アフリカ大会。3度めとなる今年のロシア大会では、ユーモアもあり気の利いた“蹴球柄”のバッグが登場。サッカー気分も一段と盛り上がる!?

写真=正重留生、スタイリング=中山麻実、文=遠藤匠、構成=大嶋慧子  
photo: Shunji Ryusei (BOJ), styling: Kmi Nakagawara (CaVN)  
text: Takumi Endo, composition: Keiko Oshima

## KEEPALL BANDOULIÈRE 50

[キーボール・バンドリエール 50]

ボディは、エビ・レザール仕立て。サッカーボールを彷彿させる六角形のパターンを立体的に描き出した。チームバッジのように施された“L.V”は、3代目ガストン・ルイ・ヴィトンが自身のトラッキングに描いていたものを再現。W50×H29×D22cm。47万5000円(ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

## APOLLO BACKPACK

[アポロ・バックパック]

大型で使いやすいフロントポケットを備えた“アポロ・バックパック”も、同じようにW杯気分一色のデザインに。メインコンパートメントには、iPadなどのタブレット端末を個別に収納できるスロット付き。W37×H40×D20cm。38万4000円(ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

## POCHETTE JOUR GM

[ポシェット・ジュール GM]

右: ラップトップも、すっきりお洒落に持ち歩けるように設計されたクラッチバッグ。開口部がL字型に大きく開き、書類も出し入れしやすい。W34×H25cm。12万円 左: 高収納力ながら、ジャケットのポケットにもきれいに収まる使い勝手もよい長財布。16枚のカードを収納可能。10万3000円(以上ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

出場を果たした32の国の代表チームが、W杯をかけて激戦を繰り広げる“FIFAワールドカップ”。その優勝チームが手にするトロフィーを安全に運ぶために、特注されたトラベルケースが存在することをご存知だろうか。実はこのケース、FIFAの依頼を受けた〈ルイ・ヴィトン〉が、パリのアトリエで仕立てたもので、今回は革新的な新素材

であるチタニウムで製作。今年のロシア大会でも、6/14の開幕戦と7/16の決勝戦でお披露目される予定なので、是非ご覧になってほしい。さらに今回の大会では、〈ルイ・ヴィトン〉らしいお洒落な手法でも、サッカーの祭典を盛り上げてくれるようだ。ここで集めたアイテムは、いずれも“キーボール・バンドリエール 50”や“アポロ・バックパック”といったお馴染みのバッグ

や革小物ばかり。これらが、クラシックなサッカーボールにインスピレーションを得たデザインにアレンジされ、特別なコレクションとしてお目見えしたのだ。いわゆる本気の応援アイテムは、スタジアムでしかまどえないが、こんなチャームなデザインなら街映えすること請け合い。W杯シーズンのお洒落のキックオフは、このコレクションでどうぞ。

# Cartier

革新を重ねる〈カルティエ〉の新作は  
挑戦し続ける大人を  
モダンに演出する。

どの世界にも時代を切り開き、人々に勇気を与えるパイオニアがいる。時計史に名を残すマスターピースでありながら、モダンに進化を重ねる“サントス”は、まさしくその象徴のひとつだ。

写真=正重留生、スタイリング=中山麻実、文=遠藤匠、構成=大嶋慧子  
photo: Shunji Ryusei (BOJ), styling: Kmi Nakagawara (CaVN)  
text: Takumi Endo, composition: Keiko Oshima

## SANTOS DE CARTIER LM

[サントスドゥ・カルティエ LM]

パリの街の躍動感とエレガンスを封じこめたようなモダンなスクエアフォルムは、誕生から1世紀以上の年月を経て色褪せず、むしろ輝きが増して見える。ブレスレットには、自分で手軽に道具を使わずにコマ調節ができる“スマートリング”機能が追加されています。実用的に、ケースサイズ39.8×47.5mm、自動巻き、YG&SSケース、YG&SSブレス+レザーストラップ。112万円(カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター)



### カーフストラップも!

ワンタッチするだけで、ブレスレットやストラップを取り外すことが可能。付属のカーフストラップへの付け替えも、時間や手間をかけずに行える。その日の着こなしやTPOに合わせて手元の表情を使い分ければ、お洒落の楽しみがまたひとつ増えるはずだ。

## 誰

もが実力を認め、功績を讃え、さらに未来を切り開くパイオニア。冒険心に富みチャレンジを繰り返し、創造力あふれる姿に、いつの時代も人々は憧れを抱く。〈カルティエ〉の“サントスドゥ・カルティエ”は、まさに時計界のパイオニアと呼ぶにふさわしい1本だ。広く知られているように、この時計は世界初の男性用の実用腕時計として誕生したマスターピースである。飛

行家のアルベルト・サントス＝デュモンが、操縦桿から手を離さずに時刻を確認できるようにと、当時友人であったルイ・カルティエが懐中時計の代わりに考案した歴史的タイムピースなのだ。一方、デザイン面では、鉄鋼技術の進化によって急成長を遂げた、1900年代初頭のパリの街並みがインスピレーションの源になっている。8本のビスをあえて見せた設計などは、当時の建築物をイメー

ジしたもので、躍動するパリのパワーを封じこめたようなデザインでそれまでの腕時計の常識を華麗に覆した。こうしたチャレンジ精神は、新作にも脈々と受け継がれている。そのよりモダンで洗練されたブレスレットとストラップを自分で簡単に交換できる“クイックスイッチ”を新搭載。様々なシーンへの対応力が求められる現代の男性にとっても、頼もしいことこのうえない。

# Hublot

アクティブな大人が選ぶ〈ウブロ〉。

リッチでスポーティな時計も  
濃紺なら品のよさがケタ違い。

ダークスーツのように、男を品よく見せてくれる濃紺時計。力強くもリッチな  
手元を演出する〈ウブロ〉の“ラグスポ時計”が、そんなカラーに  
生まれ変わった。どれをつけても、滲み出る品格は規格外だ。

写真=正重智生 スタイリング=中川原 寛 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子  
photo: Tomoo Szyju(BOH) styling: Kan Nakagawara(CaNN) text: Takami Endo composition: Keiko Oshino

**い** い年の大人が、ふらふらと軸足の定まらないお洒落をしている姿は、お世辞にもかっこいいとは言えない。様々なスタイルに移りばかりしているようでは、軽薄で自分のない男だと思われるも仕方ないだろう。ただし、手元のお洒落に関しては、“多面性”が功を奏すこともあるようだ。まずは、ここに並んだ〈ウブロ〉の新作を見てほしい。いずれもセラミックやチタンといった最先端素材で描いた造形美で、“ラグスポ時計”という新ジャンルを切り開いた代表作だ。それらが、オールネイビーに生まれ変わったのだ。スポーティかつアクティブな時計がと思いきや、ダークスーツを思わせるシックな雰囲気も印象づけられる。技術的な側面から見れば、技の限りを尽くした機械式時計にこうした多面性という付加価値を加味できること自体に特別感がある。そんな優位性も相まって、手元のお洒落に奥行きと別格のエlegansをプラスできるわけだ。

ちなみに濃紺は、深遠なる海をイメージさせる色でもある。格上感あふれる手元から、ほんのり海の香りを漂わせる。そんな粋な演出をやらせても、〈ウブロ〉の新作の右に出るものはないだろう。

#### INFORMATION

FIFAワールドカップ ロシア大会のタイムキーパーを務める〈ウブロ〉が、日本代表のサムライブルーに因んだ“ブルーウォッチコレクション フェア”を、6/9〜6/24に直営店舗にて開催。ロシア大会記念モデル等、豪華なリエーションが登場。詳しくは直営店まで。

## Big Bang Meca - 10 Blue Ceramic

[ビッグバン メカ-10 ブルーセラミック]

インディゴブルーに染まったベゼルやケースは、軽量で経年変化のしにくいセラミック製。223個のパーツで構成されたスケルトンキャリバーが、まるでダイヤルに浮かんでいるようにレイアウトされた構造は圧巻だ。ムーブメントは、約10日間のパワーリザーブで実用性を高めた手巻き。チャージが残り3日になると、3時位置に赤いマークが表示される。7月発売予定。ケース径45mm、手巻き、セラミックケース、ラバーストラップ。予定価格233万円(ウブロ・LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)



## Big Bang Ceramic Blue

[ビッグバン セラミック ブルー]

黒セラミックベゼルの引き締め効果で、サテン仕上げのブルーダイヤルがより美しく見える。ケースやベゼルの表面にはマイクロプラスチック加工が施され、都会的なルックスに仕上げられている。約42時間のパワーリザーブ搭載。他のモデルと同様、打ちこまれたヒスも“H”モチーフ。ケース径44mm、自動巻き、セラミックケース、アリゲーター×ラバーストラップ。171万円(ウブロ・LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)



## Classic Fusion Titanium Deep Blue

[クラシック・フュージョン チタニウム ディープブルー]

ディープブルーが男らしくドレスリーなケースデザイン。秒針に施されたブランドの頭文字の“H”が、マットブルーダイヤルのアクセントに。アリゲーター×ラバーストラップの内側がラバーなので、サマーシーズンの汗にも耐える。日本限定発売。ケース径42mm、自動巻き、チタニウムケース、アリゲーター×ラバーストラップ。77万円(ウブロ・LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)

〈ウブロ〉のスマートウォッチがあれば

# リアルタイムで試合が追える。

待ちに待った“2018 FIFA ワールドカップ ロシア”の開催も目前。日本代表戦に限らず、見逃せない名試合が目白押しになりそうだが、テレビにかじりついて全試合観戦するなんてことはさすがに無理だろう。しかし、奥の手がある。〈ウブロ〉の初のスマートウォッチが、すべての試合経過をリアルタイムで知らせてくれるのだ。

文=遠藤 匠 構成=大嶋 隼子  
text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

HUBLOT  
Loves  
Football



〈ウブロ〉が、FIFAのオフィシャル・タイムキーパーを務めていることは、サッカーファンならご存知の人も多いだろう。そんな同社が、蹴球好きに向けてなんと“粋なからい”をしてくれたようだ。なんの事かという、サッカーW杯ロシア大会のために製作したスマートウォッチに盛りこんだ機能が、とにかく出色なのだ。

実はこの時計、もともとはFIFAからの依頼を受けてW杯の審判のためにカスタマイズされたもの。そのため、大会中に開催される全64試合の試合経過をリアルタイムでダイヤルに表示する機能が備わっているのだ。その内容は、スコアやイエロー&レッドカードの数は言うに及ばず、得点を決めた選手や選手交代の情報までを教えてくれるというから驚き。得点が入ると、“GOAL”というグラフィックが表示されるなど、ワールドカップ気分を盛り上げるギミックが満載などところ実

に楽しい演出となっている。ちなみにこの時計、試合開始15分前を知らせる機能も備わっているのだ、絶対に観戦したい試合を見逃すこともなさそう。4年に一度のビッグイベントを楽しみ尽くすために持っていていいかも!



ブラジル

ドイツ

日本

試合がはじまったら応援しているチームカラーにチェンジ!

スワイプするだけで、国旗をイメージした32種類のデザインをダイヤルに映し出せるのも魅力。付け替え可能なストラップ(受注販売)でデザインをリンクさせて応援しよう! ストラップ各7万円(ウブロ/LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)

見逃せない試合の経過を手元でチェック!



レッド&イエローカード ゴール アラート カウントダウン

W杯開催までの日数と試合開始時間までのカウントダウンをディスプレイに表示。試合がはじまると、選手交代やカード数といった試合経過の情報をその都度、教えてくれる。ゴールが決まると、専用グラフィックと時計本体の振動で通知するなど機能満載。



## BIG BANG Referee 2018 FIFA World Cup Russia

[ビッグバン レフェリー 2018 FIFA ワールドカップ ロシア]

“Wear OS by Google”を搭載。Android 4.4以上、iOS 9以上のスマホと互換性がある。実際にW杯のレフェリーたちが同じ時計を着用するという一体感で、気持ちが入った応援ができる! 世界限定2018本。ケース径49mm、チタンケース、ラバーストラップ&スポンジスポーツストラップ。55万円(ウブロ/LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)

# Hublot

アクティブな大人が選ぶ〈ウブロ〉。

リッチでスポーティな時計も濃紺なら品のよさがケタ違い。

ダークスーツのように、男を品よく見せてくれる濃紺時計。力強くもリッチな手元を演出する〈ウブロ〉の“ラグスポ時計”が、そんなカラーに生まれ変わった。どれをつけても、滲み出る品格は規格外だ。

写真=正重智生 スタイリング=中川 寛 文=遠藤 匠 構成=大嶋 隼子  
photo: Tamas Szabo(BOH) styling: Ken Nakagawa(Co.VN) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

い 年の大人が、ふらふらと軸足の定まらないお洒落をしている姿は、お世辞にもかっこいいとは言えない。様々なスタイルに移りばかりしているようでは、軽薄で自分のない男だと思われるも仕方ないだろう。ただし、手元のお洒落に関しては、“多面性”が功を奏すこともあるようだ。まずは、ここに並んだ〈ウブロ〉の新作を見てほしい。いずれもセラミックやチタンといった最先端素材で描いた造形美で、“ラグスポ時計”という新ジャンルを切り開いた代表作だ。それらが、オールネイビーに生まれ変わったのだ。スポーティかつアクティブな時計かと思いきや、ダークスーツを思わせるシックな雰囲気も印象づけられる。技術的な側面から見れば、技の限りを尽くした機械式時計にこうした多面性という付加価値を加味できること自体に特別感がある。そんな優位性も相まって、手元のお洒落に奥行きと別格のエレガンスをプラスできるわけだ。

ちなみに濃紺は、深遠なる海をイメージさせる色でもある。格上感あふれる手元から、ほんのり海の香りを漂わせる。そんな粋な演出をやらせても、〈ウブロ〉の新作の右に出るものはないだろう。

### Big Bang Meca-10

インディゴブルーに染まったベゼルやケースは、軽量で経年変化のしにくいセラミック製。223個のパーツで構成されたスケルトンキャリバーが、まるでダイヤルに浮かんでいるようにレイアウトされた構造は圧巻だ。ムーブメントは、約10日間のパワーリザーブで実用性を高めた手巻き。チャージが残り3日になると、3時位置に赤いマークが表示される。7月発売予定。ケース径45mm。手巻。セラミックケース、ラバーストラップ。予定価格233万円(ウブロ/LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)

### Big Bang Ceramic Blue

[ビッグバン セラミック ブルー]

薄セラミックベゼルの引き締め効果で、サテン仕上げのブルーダイヤルがより美しく見える。ケースやベゼルの表面にはマイクログラス加工が施され、総合的なルックスに仕上げられている。約42時間のパワーリザーブ搭載。他のモデルと同様、打ちこまれたヒズも、H1 モーター。ケース径44mm。自動巻き。セラミックケース、アクリルターメラバーストラップ。171万円(ウブロ/LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)



### Classic Fusion Titanium Deep Blue

[クラシック・フュージョン チタニウム ディープブルー]

ディープブルーが男らしくドレスリーなケースデザイン。秒針に施されたブランドの頭文字の“H”が、マットブルーダイヤルのアクセントに。アクリルターメラバーストラップの内側がラバーなので、サマーシーズンの汗にも耐える。日本限定発売。ケース径42mm。自動巻き。チタニウムケース、アクリルターメラバーストラップ。77万円(ウブロ/LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)

# RAYMOND WEIL

モダンさが際立つ(レイモンド・ウェイル)。

感性を刺激する1本は独創的なスケルトン。

腕時計は、男を飾る数少ないアクセサリーのひとつ。いつもよりクリエイティブな自分でありたいなんていう日は、感性を刺激してくれるような独創的なタイムピースで手元を彩ってみてはいかが!?

写真=正重智生 スタイリング=中川原寛 文=遠藤匠 構成=大嶋慧子  
photo: Tomoo Syoju(BOIL) styling: Kan Nakagawara(CaNV) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

**女**性がアクセをまとう感覚に近いのかもしれないが、気分転換や気持ちのギアを切り替えるために腕時計のお洒落を楽しむのも悪くない。たとえば、今日がいつも以上にクリエイティブな感性を発揮したい日だったとしよう。そんなとき、(レイモンド・ウェイル)の個性的なタイムピースが手元で存在感を放っていたら、普段は封印されている創造性を掻き立ててくれるかもしれない。なかでもイチオシは、この“フリーランサー”。ミニマルなインデックスとは対照的に、文字盤から時計の心臓部が見られる構造は極めて独創的。絶え間なく動く自社製ムーブメントの精巧なメカニズムからにじみ出る職人魂が、クリエイティブな自分を呼び覚ますブースターになってくれる。

## FREELANCER

[フリーランサー]

(レイモンド・ウェイル)は、スイスのレイモンド・ウェイル一族が3代にわたって経営する独立系ブランド。ジュネーブを拠点に、音楽や芸術に着想を得た時計作りで、ひと味違う存在感を放っている。ムーブメントは、自社製キャリバー“RW1212”をブラッシュアップしたもので、38時間のパワーリザーブ機能が備わる。ケース径42mm、自動巻き、ブラックPVDのSSケース、カーフストラップ、10気圧防水。31万5000円(レイモンド・ウェイル/GMインターナショナル)



毎時2万8800振動でテンプが動くハイビートの自社製ムーブメントが裏からも眺められる、スモークガラスのシースルーバック仕様。回転しながら巻き上げ動力を生み出すローターにはブランド名が刻印されている。ケースはブラックPVD加工で、個性的な深みのある男らしい仕上がりに。

# CORUM

海好きのロマンを纏った(コルム)は

夢が語れる大人を  
引き立ててくれる。

伝統を重んじることは大切だが、型にハマりすぎて夢を語れない男にはなりたくないもの。新しい体験を求めて世界を旅するジェットセッターなら、ロマンあふれる海の香りを纏った時計で、その殻を破りたい。

写真=正重智生 スタイリング=中川原寛 文=遠藤匠 構成=大嶋慧子  
photo: Tomoo Syoju(BOIL) styling: Kan Nakagawara(CaNV) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

## ADMIRAL Legend 42 chronograph

[アドミラル レジェンド 42 クロノグラフ]

海洋信号旗のインデックスを引き立てる12角形のベゼルは、ヨットのナットがイメージソース。文字盤は12芒星を思わせる形状で、クリスタルガラスも12角形に。スイスのラシュード・フォンで生産される自動巻きムーブメントを搭載し、42時間パワーリザーブやデイト表示をはじめ、実用性の高いサブダイヤルが満載。ケース径42mm、自動巻き、SSケース、ベゼルは18Kローズゴールド、アリゲーターストラップ、30m防水。155万円(コルム/GMインターナショナル)



**い**い年をして夢見がちなのはいただけなが、男にとって“夢”はエネルギー源だったりもする。特に新しい世界を切り拓くことに情熱を感じるジェットセッターであれば、こうありたいと願う理想を思い描くことがモチベーションになる人も多いはずだ。そんな男にこそ似合いそうな腕時計が、(コルム)の“アドミラル”だ。

(コルム)というブランドは、由緒正しいスイスメイドながら、“夢を形にする”というコンセプトで型にハマらない時計を作り出している。これは1985年に誕生した代表作だが、マリンウォッチにありがちなダイバーズ的なアプローチではなく、海洋信号旗をあしらったダイヤルで魅せている。海への憧れと色褪せない冒険心を表現するには最高の1本だ。

海色に染まった限定モデルでひとときわやかな手元に。

デニムはもとより、ダークスーツにも映える“ガンブルー”でベゼルを彩った日本限定モデル。40代以上には懐かしい海洋信号旗のデザインである一方、都会にいながら海を感じる配色。指針は、視認性の高い純白。ケース径42mm、自動巻き、SSケース、ベゼルはブルーPVD、アリゲーターストラップ、30m防水。74万円(コルム/GMインターナショナル)





## FENDI

手ぶらになったときでも  
大人らしさは忘れずに。

“旅の恥はかき捨て”といっても、リュックの選びを間違えて若造っぽく見られるのは避けたいところ。そこで手にしたいのが、〈フェンディ〉の新作。ウェビングベルトに織りこまれているのは、今シーズン復活を遂げた“FF”のロゴ。'60年代に考案された大人世代には懐かしいこのアイコンが、リュックであることが信じ難いくらいリッチな佇まいを演出してくれる。ちなみにこのリュック、コンバーチブルの助手席に無造作に置いたりしても抜群に映えるようだ。

財布を一瞬で取り出せるフロントポケットのほか、サイドの2つのメッシュポケットなど、実用面も申し分ないデザイン。ロゴが描かれたボトムレザーパーツをはじめ、随所にイタリアの職人が宿っている。リュックW38×H51×D20cm。28万7000円。スウェードシャツ3万3000円、Tシャツ7万8000円、白デニムパンツ10万3000円、サングラス3万8000円、財布7万2000円(以上フェンディ/フェンディ ジャパン)



ロゴのあしらいひとつで  
楽園モードにギアチェンジ。

ジョルジオ・アルマーニが別荘を構える、地中海のバカンス島・バンテレリア。多忙を極める彼が、その島にエスケイプするとき持っていきたいバッグとしてデザインされたのが、このトートバッグだそう。コットンキャンバスボディは、ビーチ遊びやピクニックの道具を詰めこんでもへこたれない、堅牢な作りが自慢。ボディで主張するのは、ゆるやかなタッチのハンドライティングで描かれた彼のサインだ。肩の力が抜けたテイストがバカンス気分を盛り上げてくれる。

肩からかけられる2WAY仕様。ストラップは上質な布製。使いこむと、エイジング効果により旅慣れ感もアピールできそう。バッグW63×H42×D25cm。24万円。ジャケット27万円。ポロカラーTシャツ6万5000円。パンツ10万8000円。エスパドリーユ5万9000円。帽子3万3000円(以上ジョルジオアルマーニ)。ジョルジオ アルマーニ ジャパン。腕時計15万5000円(エンポリオアルマーニスイスイド/ジョルジオアルマーニ ジャパン)

## GIORGIO ARMANI

上品でスマートな旅バッグがあれば

## リゾートファッションも見違える。

長期の旅にトrolleyケースは便利。でも、夏は薄手の服が多いから荷物もかさばることもないはず。そんなときは大きめバッグの出番。トrolleyでは望めない着こなしとの合わせも楽しいし、なにしる軽快。特にリゾートでは上品でカジュアルなバッグを選べば、場にふさわしいお洒落が楽しめる。

写真=野口貴司 スタイルング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 文=遠藤 匠 構成=大嶋 慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN) hair&smoke-up: Megumi Matsumoto(es\*QUASSE) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

レトロなスポーツ風味で  
アイランドホッピング!

旅にルールなんてない。だから、容量さえ目的に叶えば、旅の着こなしや行動に合わせてバッグを選んだほうがいい。たとえばリゾートを巡るフットワークの軽い旅なら、スポーティなバッグを選ぶなんてのはどうだろう。(バリー)の新作のようにレトロで雰囲気のあるタイプはまさにうってつけ。'70年代のテニスバッグのようなデザインを、純白のカーブで仕立てた佇まいはリッチな印象。涼しげな白アイテムが大活躍するリゾートファッションにもよく似合う。

ブランドを象徴する「バリーストライプ」で彩られたショルダーストラップは、お馴染みの赤×白ではなく、涼しげなブルーをあしらったのもバカンス向き。両サイドにあるラウンドジップの大型ポケットは、開閉がしやすくパスポートなどの収納にも便利。ポストンバッグW49.5×H27×D20cm。18万9000円。タートルニット9万4000円、パンツ9万4000円(以上バリー/バリー銀座店)、その他はスタイリスト私物

BALLY

LOEWE

リゾート映えするバッグが  
開放感たっぷりな気分。

真っ直ぐな日差しが、まるで旅人を歓迎してくれるかのように降り注ぐリゾート。そんな開放的な土地でバカンスを過ごすのであれば、底抜けに明るい配色のバッグを持つのも悪くない。(ロエベ)が手掛けたこのサンシャインカラーのダブルなんて、最高じゃないだろうか。気楽に持てるキャンバスボディも魅力だが、スライダーから延びたレザーがゆらゆらと揺れる様子もなんだか楽しげ。海色のボーダーT姿に持てば、夏の地中海を旅しているような気分になる!

シンチストラップを側面に走らせた、クラシック色の強いデザイン。ハンドルやボトムは、高級感がありつつも耐久性に富むカーフレザー仕立て。バッグの前面には、これみよがしにならないサジ加減で、ブランドを象徴するアナグラムのエンボス加工が施されている。ダブルバッグW67×H38×D34cm。26万円。カットソー参考商品、デニムパンツ参考商品、横に置いたニット12万円(以上ロエベ/ロエベジャパンカスタマーサービス)、その他はスタイリスト私物

短期間なら ラグジュアリーホテルのクルーズもおすすめ!



**フォーシーズンズ  
エクスプローラー**

モルディブの海を豪華カタマランヨットで！  
各種マリアクティビティの中には海洋生物学  
者のガイド付きツアーも。サンドバンクでのマ  
ッサージやサンセットカクテルなど、モルディ  
ブメフォーシーズンズの強カクタツならではの  
体験。3、4、7泊があり、チャーターもOK。

**DATA**  
フォーシーズンズ  
ホテルズ・アンド・リゾーツ  
0120-024754  
www.fourseasons.com/jp

全長39m、三層構造のカタマラン。  
キャビンはステートルームとスイ  
ートが11室。バスタブ付きで、20  
㎡以上。サーフクルーズにいが



**アマンディラ  
コモドエクスベディション**

インドネシアのコモド国立公園内を周遊する。  
2018年は10月10日までの期間限定クルーズ。  
全長52mの伝統的なベニシ船を模した帆船に、  
キャビンは5室のみ。スタッフはダイブインス  
トラクターやシェフを含め14人が対応。クルーズ  
の前泊のアマンワナなどの滞在も含まれる。

**DATA**  
アマン  
0120-951-125  
www.aman.com

ユネスコの無形文化遺産ベニシ船  
がモチーフの、アドベンチャー感  
たっぷりの帆船アマンディラ。キャ  
ビンはアマンならではの優雅さ



BON VOYAGE!  
**TOP OF THE CRUISE**



世界最高峰の小型客船でクルーズする。

世界的プラットフォームとなっているクルーズ。狙い目は、贅を極めた豪華小型船。  
究極のオールインクルーシブや全室スイートなど、めくるめく洋上の日々が待つ!

文=古関千恵子 写真=Shigeo Kosaki

Great  
**EXPLORE\***

小型船クルーズの先駆者的ブランド  
**SILVER MUSE**  
[シルバー・ミューズ]

この船でクルーズ!

ラグジュアリークルーズの最高峰!  
**SEVEN SEAS EXPLORER**  
[セブンシーズ・エクスプローラー]

この船でクルーズ!

その道のプロが贅を追求!  
**SEABOURN OVATION**  
[シーボーン・オベーション]

**ま** さにプレミアムなオールインクルーシブ!  
シャンパンを含むお酒をはじめ、スペシャリ  
ティ・レストランでも追加料金なし。寄港地  
でのツアーやWi-Fi、一部航路ではランドリーも込み。全室  
スイートでバルコニーの広さも業界随一。コンシェルジュ  
スイート以上なら乗船前の1泊付きだ。(キャニオンラ  
ンチ)の豪華スパやキッチンスタジオでの料理教室など  
施設も充実。贅沢三味ながらカジュアルなつづき感が  
心地いい。2020年は姉妹船「スプレンドール」がデビュー。

**DATA**  
リージェントセブンシーズ  
クルーズ日本支社  
03-4530-9884  
https://jp.rssc.com

A: 船尾にあるスパ内のインフ  
ィニティプール。航跡を眺めな  
がらリラックス B: カジノは  
クルーズ定番のお楽しみ C:  
最も贅沢な「リージェントスイ  
ート」は413㎡。室内にスパバ  
ドがありトリートメント三味!

**贅** 沢なオールインクルーシブ制と、きめ細やか  
なサービスが人気の(シーボーン・クルーズ)。  
そして2018年5月、ウルトラ・ラグジュアリー  
を極めた新船がデビュー。たとえば、お部屋のアメニ  
ティは高級ブランド(モルトン・ブラウン)がこの船用にか  
スタマイズ。スパでは医学博士アンドルー・ワイルによる  
プログラムを用意。さらにミシュラン星付きシェフがダ  
イニングのメニューを監修し、米国トップのミクソロジ  
ストがカクテルを考案。すべてにおいてスペシャル!

**DATA**  
オーバースーズ  
トラベル  
03-3567-2266  
https://cruise-ota.com

A: オブザーベーション・ラウンジ  
で、野菜などの食材で作るミク  
ソロジストのカクテルを B:  
最上階のデッキからは、いつも  
極上の大海原が C: 職人はも  
ちろん、日本人スタッフが常駐  
する寿司レストラン「スシ」

**船** 体のサイズを競うことなく、  
洗練された空間と丁寧なサ  
ービスで「上質」を極めてき  
た(シルバー・シー)。その最新にしてフラ  
ッグシップ・フリートが「シルバー・ミ  
ューズ」。280のキャビンすべてがバル  
コニー付きスイート。標準クラスの「ク  
ラシック・ベランダ・スイート」でも広  
さ36㎡。「オーナーズ・スイート」に至  
っては12㎡のバルコニー付きで119㎡!  
豪華客船を扱う(シルバー・シー)の中  
でも、大型スイートやコネクティング  
ルームの多さが特徴だ。もちろん、全室

に伝統のパトラサービス付き。  
アルコールを含む飲食(ミニバーも)  
ではチップが不要なものもありがたい。  
食事はメインダイニングは置かず、ル  
レ・エ・シャトーのメンバーの本格フレ  
ンチを含む8カ所から選ぶスタイル。  
食の評判が高いのも、うなずける。

**DATA**  
インターナショナル・クルーズ・  
マーケティング  
03-5405-9213  
www.icmjapan.co.jp



A: プールエリアは10デッキ。空と海を満喫 B: テイ  
クアウトできるビザが好評の(スバッカ・ナポリ) C:  
マンハッタンのジャズクラブを模した(シルバー・ノ  
ート) D: 憧れのオーナーズ・スイート! E: 新鮮な  
シーフードやステーキが楽しめる(アトランティック)

SEABOURN OVATION / シーボーン・オベーション SEVEN SEAS EXPLORER / セブンシーズ・エクスプローラー

Silver Muse / シルバー・ミューズ



# Inflight Dining by STAR CHEF\*

待ち遠しいのは、スターシェフが手掛ける機内食。

いまや機内食は空腹を満たすだけのものではない。アップクラスでは名だたるシェフたちが監修した食事を提供している。特にスターシェフとのコラボレーションに力を入れている3社をご紹介します。

文=たかせ藍沙 text: Aisha Takase



※写真はイメージ

## AIR FRANCE

【エールフランス】

6月までビジネスクラスを担当するギ・マルタンは、幼い頃から料理に憧れ、1991年に、300年以上の歴史を持つパリの名店(ル・グラン・ヴェフル)の料理長に就任。「世界のトップシェフ7人」に選ばれるなど数々の賞に輝く。フランス料理の伝統を守りつつ、旅の思い出、色、香りなどからインスピレーションを得た独自の料理が特徴。



ギ・マルタン  
(ル・グラン・ヴェフル)

**日** 本航空は、国内外で活躍する日本人スターシェフ監修によるメニューを用意。下記3人のシェフのほかに、ミシュラン星付きの、パリ(パッサージュ 53)の佐藤伸一、神楽坂(石かわ)の石川秀樹、神楽坂(虎白)の小泉瑚佑、シンガポール、パリで活躍してきた吉武広樹が監修している。エールフランス航空のビジネスクラスとファーストクラスは、3カ月ごとに担当シェフが替わるスタイル。ビジネスクラスの監修は左記のほか、レジス・マルコン、ミシェル・ロッド。ファーストクラスは、ジョエル・ロブションなどフランスを代表するスターシェフばかりだ。

シンガポール航空のビジネスクラス、

ファーストクラス、スイートでは、写真のロブスター・テールミドルといった通常メニューのほかに、「インターナショナル・カリナリー・パネル」と名づけられた8人のスターシェフ監修のメニューを用意している。下記4人とフランスの大御所ジョルジュ・ブランのほか、日本発着便では京都の老舗(菊乃井)の村田吉弘が監修。一部のファーストクラス、スイートの、インド-シンガポール間では人気料理番組を持つムンバイのサンジーブ・カプール、中国-シンガポール間などでは上海(ジェード・ガーデン・レストラン)の朱俊が監修した料理から選ぶことができる。これらすべてのメニューは、ホームページから事前予約するスタイル。舌鼓は機内でどうぞ。

## JAPAN AIRLINES

【日本航空】



※写真はイメージ



須賀 洋介  
(SUGALABO)  
26歳で六本木(ラトリエ ドゥ ジョエル・ロブション)エグゼクティブシェフに。愛弟子として数々の新店舗オープンに携わった後、2015年に(SUGALABO)開業。日本の食材とフランスの技術を使った、芸術のようなひと皿を提供。ファーストクラス洋食担当。



山田 チカラ  
創作料理(山田チカラ)  
スペインのレストラン「エル・プリ」のフェラン・アリア氏に師事するなど6年間海外で修業し、2007年に創作料理店を開業、2018年にはニューヨークに進出。常に「おもてなしの心」を大切に、食の楽しさ、面白さ、発見がある料理を目指す。ビジネスクラス洋食担当。



※写真はイメージ



※写真はイメージ



黒木 純  
(くろぎ)  
日本料理(京味)などの名だたる名店(京味)などの名だたる名店(京味)などを重ね、2010年に(くろぎ)開業。「素材と会話」しながらひとつひとつの素材の旨みを引き出す。日本料理の手仕事を丁寧に仕上げ、「機内食ならではの美味しさ」を追求している。ビジネスクラス和食担当。



## SINGAPORE AIRLINES

【シンガポール航空】

※写真はイメージ



アルフレッド・ホルターレ (ニューヨーク(ゴッサム バー & グリル) ミラノ(リストラテックラッコ))  
カルロ・クラッコ (ミラノ(リストラテックラッコ))  
マシュー・モラン (シドニー (モランズ), (アリア))  
スザンヌ・ゴイン (ロサンゼルス(A.O.C)他)

アルフレッド・ホルターレは、ジェームズ・ビアード財団の「アメリカ飲食界の人名録」に殿堂入り、(ゴッサム バー & グリル)は4年連続でニューヨーク・タイムズ紙の三つ星を獲得している。カルロ・クラッコは、ミシュラン二つ星を持つほか、人気料理番組の審査員も務める。マシュー・モランは、モダンオーストラリア料理第一人者で、自身の料理番組にも出演。スザンヌ・ゴインは受賞歴多数で3軒のレストランのオーナーシェフだ。



Safari Lounge STREAMER COFFEE COMPANY

# 憧れの西海岸ライフが体感できるショールームストア! 横浜ベイエリアに行ったら 『Safari Lounge ショールーム』へ!

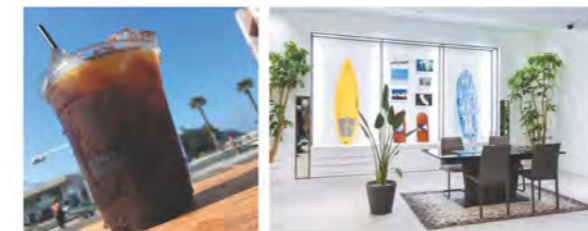
雑誌『Safari』の公式オンラインストア『Safari Lounge』が、「マリン アンド ウォーク ヨコハマ」に期間限定でショールームストアをオープン! 海好きな大人が住む邸宅をイメージした空間には、〈ボーコンセプト〉のインテリアが揃い、月1回で入れ替わる流行のファッションアイテムも豊富にラインナップ! 是非この機会にお立ち寄りください。

文=遠藤 匠 text: Takumi Endo

## 西海岸のライフスタイルを体験できる カフェ&ショールーム形式のショップ!

期間: 10月31日(水)まで

『Safari Lounge ショールーム』は、その名のとおり、ショールーム形式なのが最大の特徴。試着して気になるアイテムはWEB上で購入しつつ、ちょっと疲れたらコラボカフェで(ストリーマーコーヒー)のコーヒー片手にひと休み。(ボーコンセプト)のインテリアで寛ぐことも可能だ。潮風薫るみなとみらいで、ゆったりとした時間を過ごしてほしい。



STREAMER COFFEE COMPANY  
BoConcept



### マリン アンド ウォーク ヨコハマ

◎神奈川県横浜市中区新港1-3-1 E棟-1F  
◎11:00 ~ 20:00  
☎045-680-6101 (代表)  
☎080-9992-9731 (店舗直通)



Car Brands Support

# YACHT RACE\*

**ク** ルメーカーとヨットやクルーザーとの関係をご存知だろうか。実は、両者の関係は面白いほど多面的に繋がっている。

たとえばデザイン。このところのプレミアムブランドでは「クルーザーのデザインからインスパイアされました」、なんてプレゼンも少なくない。言われてみればキャビンの後方に配したクルーザーはFRスポーツカーのように見えるし、ピラーを黒く塗り潰した手法は高級サールのトレンドにもなっている。空力を含めカーデザイナーはクルーザーあたりを横目で眺めているようだ。

素材もそう。下の写真のようなレーシングヨットのボディはすべてカーボンファイバー。軽量かつエアロダイナミクスが優れていることから、エフィシエンス(高効率)の面で使用されている。つまり、レーシングカーやスーパーカーと同じ。そのことから「ビー・エム・ダブリュー」などは、ボードビルダーに技術提供をし、カーボンの優位性を世にアピールしているようだ。

マーケティングの視点では、高級車オーナーの趣味嗜好という点で繋がっている。欧州の富裕層のライフスタイルをイメージすればおわかりいただけるだろう。ヨットレースのスポンサーをし、週末、地中海沿いのマリーナに向かうアシとして「当社のクルマをどうぞ!」ってことだ。

というように、両者の関係は実に多面的に繋がっている。陸と海、走るフィールドは違っても乗り物という面では同じ。ヨットやクルーザーを見れば高級車のトレンドがわかるかも!? ですわ。

## VOLVO

[ボルボ]



自らヨットレースをオーガナイズしたタフでワイルドなイメージを構築。

(ボルボ)といえば「ボルボオーシャンレース」。ほぼ11か月かけて地球を一周するタフな外洋レースだ。たまにオーシャンレース・エディションとして限定車を販売しているのをご存知の方も多いのでは? (ボルボ)はそれに参加したりスポンサーしているわけではない。彼らは主催として専門の組織を作り運営している。そのためヨーロッパの(ボルボ)のイメージは、タフでワイルドだ。

## BMW

[ビー・エム・ダブリュー]



アメリカスカップをメインにヨットとの様々な関係を強化。

アメリカスカップでは(ビー・エム・ダブリュー)の名が挙がる。かつて「BMWオラクル」チームが印象的だったが、昨年「オラクルチームUSA」にしっかりスポンサーしている。それだけではない。筆者は先日にもスペインの国際試乗会でカタマランのレーシングヨットに乗せてもらったが、それも(ビー・エム・ダブリュー)がカーボンの技術提供したもので、技術面での繋がりが強いようだ。

## LAND ROVER

[ランドローバー]



4WD専門クルメーカーのタフなイメージ作りにもヨットレースも貢献!

(ランドローバー)もまた、アメリカスカップに参戦するチームをスポンサーしていた。昨年日本でも開催されたワールドシリーズで戦っていた「ランドローバー BAR」チームがそれ。もちろん、アメリカスカップと(ランドローバー)のイメージはぴったりで、どちらも冒険やチャレンジというワードで括ることができる。英国人のアメリカスカップに対する思い入れも相当強いらしい。

## MASERATI

[マセラティ]

著名な冒険家をサポートすることで「挑戦」するブランドイメージに。

(マセラティ)がスポンサーしているのはチームではなく人物。イタリア人の世界的ヨットレーサー兼冒険家のジョバンニ・ソルディニ。今年トリマラン(三脚船)の「マセラティマルチ70号」で、このクラスのヨットでは前人未踏の長距離ルート、香港-ロンドン間2万4000kmノンストップセーリングを3月に達成し新記録を樹立。単なる高級車でなくチャレンジ精神をアピールした。

### クルメーカーがヨットに興味を示す理由とは!?

日本に比べるとピンとこないが、ヨーロッパではヨットレースの人気は高い。そんな中、名だたる高級車メーカーが、このところ積極的にヨットの世界に関わっている。そこには意外な理由があった。

文=丸島辰也 text: Tatsuya Kushima

### Celebrity

お洒落セレブの愛用アイテムや海外のホットなインタビュー記事も!



photo by AFLO

### Travel

今度のバカンスはどこへ行く? 今訪れたい世界のリゾートやホテルなどを紹介



### Watch

手元を彩る大人にふさわしい時計やひと味違う限定モノもいち早く!

雑誌「Safari」の公式ライフスタイル・WEBメディア

# Safari Online

サファリ オンライン

<https://safari-online.jp>

Safari Onlineは、LAセレブのようなラグジュアリーかつアクティブなライフスタイルをベースとしたファッション、グルメ、旅、クルマ、時計、美容など大人に欠かせないピックや最新情報を毎日更新。雑誌にはないWEBだけのオリジナルコンテンツやスペシャル動画などが満載!

### Fashion

カジュアル上手な大人に見せる着こなしポイントやトレンドがわかる



### Car

好奇心を刺激するエクスクルーシブなクルマ情報や特別試乗会もご案内



### Gourmet

2人の距離がグッと近づく最旬グルメやじっくり味わいたいお酒なども!



...and more!

### NEWS

LINE公式アカウントができました!

Safari Online公式アカウントをLINEアプリの「友だち」に登録すれば、お手元のスマートフォンやタブレット、PCなどの端末に、本サイトのダイジェスト版が届く! LINEでも手軽に「オフタイム活性化」できる最新情報を、チェック!

ココからアクセス!



雑誌「Safari」の公式オンラインストア

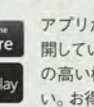
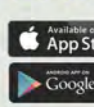
サファリ ラウンジ

# Safari Lounge

<https://safilounge.jp>

Safari Loungeでは誌面掲載アイテムを中心に種類豊富な商品をご用意。ここでしか買えない別注や限定アイテムも目白押し! スマホアプリをダウンロードすれば買い物はもちろん、アプリ限定のイベント告知やクーポンなどスペシャル情報も得られる。

サファリ ラウンジ公式アプリ



アプリだけでなく展開していない利便性の高い機能がいっぱい。お得な情報も!

ココからアクセス!



LINE Add Friend! サファリ ラウンジ公式LINEアカウント



LINEで「友だち」登録すれば、今だけ1000円分のギフトコードをプレゼント!

ココからアクセス!



# Safari

を読むなら、  
定期購読をおすすめします!

お近くに書店がない、買いに行く時間がないなど書店でのお求めが難しい方に、毎月発売ごとに「Safari」がお手元に届く便利な年間購読をご案内いたします。



### 特典は、たっぷり2週間使える化粧水のサンプルボトル!

(ラボ シリーズ)は1987年に誕生以来、男性特有のニーズやライフスタイルに着目し先進のテクノロジーで製品開発に取り組んでいる。高級メンズ化粧品No.1(※)ブランド。その代名詞ともいえるロングセラーアイテムとSafari定期購読がセットで登場!右の「ウォーター ローションRE」は肌に必要な水分を補給し、持続的な潤いをサポートしてくれる化粧水。乾燥を防いで清潔な肌へ導いてくれる。また、左の乳液「エイジ R+」はハリと弾力のある肌へ導いてくれる。男性にも使いやすいサラッと軽いテクスチャー。これを日々のケアに取り入れれば、大人の男に欠かせない清潔感が自然と漂うはず!

※ボーテリサーチ調べ(百貨店におけるメンズスキンケア市場2010年~2016年)※



**Safariとは?**  
海が大好きな大人のために、カリフォルニアのライフスタイルを提案する男性ミドルエイジ誌。ラグジュアリーなカジュアルファッションを中心に、グルメ、時評、食、旅行など幅広いジャンルを紹介する。毎月24日発行。

残りわずか  
お早めに!

## 創刊15周年記念 LAB SERIES ロングセラーセット!

1年定期購読(12冊) ———— **¥9840**  
+  
ラボ シリーズ  
エイジR+ 50ml ———— **¥6900**  
+  
ラボ シリーズ ウォーター  
ローション RE 50ml ———— **サンプル**

**41% OFF!**  
(¥6900相当)

**¥16740 ⇒ ¥9840**

※ギフト商品はご入金確認後3~4週間ほどで、本誌とは別送でお届けの予定です

定期購読のみお申し込みの場合

定価¥820×12冊= **¥8200(税込)** **16% off**  
¥9840のところ

日之出出版公式オンラインストア

WEBで <https://hinode.co.jp/sfc/4>

●支払い方法はクレジットカード、払い込み(郵便局・コンビニ)のいずれかをお選びいただけます

お電話で **03-5543-1340** 日之出出版 読者購読係  
(受付時間:平日10:00~17:00)

●支払い方法は払い込み(郵便局・コンビニ)のみとさせていただきます  
●払い込み(郵便局・コンビニ)の場合、手数料として別途150円がかかります

【ご注意】

●配達・配達手配状況により、発売日にお届けできない場合があります。ご了承のうえ、お申し込みください。  
●お届けは日本国内に限らせていただきます。●日之出出版オンラインストアでの会員登録が別途必要になります。  
●こちらのご案内に表記されているスペシャルセットは、予定数量を超えた場合は終了となります。  
●増刊号は年間購読の対象外となります。●支払い方法で払い込みを選択いただきましたお客様につきましては、弊社より別途請求書発行させていただきます。請求書到着後、14日以内に郵便局もしくはコンビニエンスストアで払い込みをお願いします。●お申し込みのタイミングによっては、発売日にお届けできない場合や、ご希望の開始号からお届けできない場合がございます。●ご購入期間中の中途解約は承っておりませんので、あらかじめご了承ください。

●お申し込みの際にご記入いただくお名前、ご住所、メールアドレスなどの個人情報等は日之出出版にて管理し、購読雑誌のお届けや定期購読サービスの提供に必要な業務連絡に使わせていただきます。またそれ以外に、弊社からの各種ご案内(イベント・刊行物・プレゼントなど)やアンケートのお問い合わせ、各種お問い合わせや広告主などの製品やサービスのご案内をお送りする場合がございます。利用目的にご同意のうえ、お申し込みください。日之出出版の個人情報保護方針につきましては右記ウェブサイトをご覧ください。 <https://hinode.co.jp/privacypolicy/>



COVER: Luis Suarez  
【ルイス・スアレス】

## W杯を盛り上げた お洒落&イケメン選手。

Athlete Safari アスリート・サファリ vol.19 820YEN(税込)

全国書店・インターネット書店で好評発売中! 日之出出版公式オンラインストアでもお求めいただけます。  
<https://hinode.co.jp/stp>

### 15周年を祝う〈バカラ〉の特別な1杯。

フランスのクリスタルブランド〈バカラ〉の世界観を体感できる世界初のバーとして、「B bar」が東京・六本木に誕生したのは、2003年のこと。あれから15年。時を超えて輝き続ける〈バカラ〉の特別な空間で、期間限定のカクテルを!

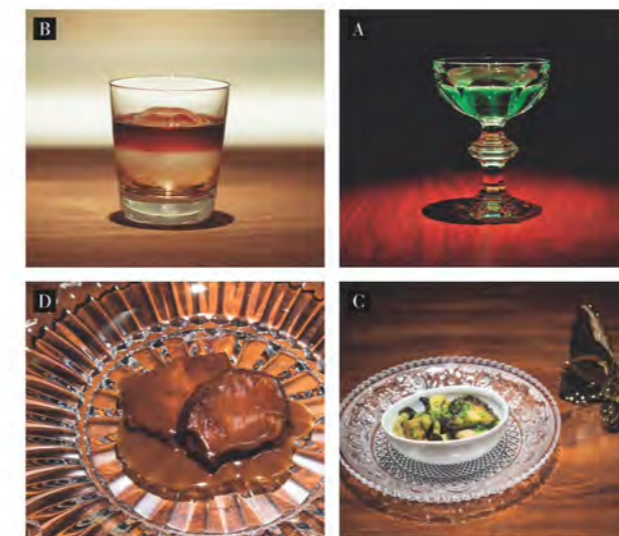
文=真下武久 text: Takahisa Mashimo

## 15th Anniversary COCKTAIL\*



真っ白なムースの奥に  
ジンのポタニカルが香る!

「B bar」15周年オリジナルカクテル「エデン」。クラフトジンとともに卵白をシェイクしたカクテルは、やわらかくクリーミーな口当たり。ムース状の泡の奥に隠れたジンの複雑なポタニカルが、心地よく鼻腔をくすぐる。3000円



計算された照明の下できらめくバカラクリスタル!

A:15周年オリジナルカクテル「エデン」のほか、数種類のオリジナルカクテルを用意する。写真はあざやかなブルーが印象的なシャンパーニュカクテル「ジェイド・ベージュ」。2800円 B:フランス・ローヌ地方のデザートワイン、ミスカド ボームド・ヴニーズを使用した1杯「パーフェクション」。2800円 C:「B bar」のフードメニューは軽井沢の人気フレンチ「エルミタージュ・ドゥ・タムラ」のもの。写真は「黒アワビときのこのブルゴーニュ風」。3500円 D:「牛ホホ肉の赤ワイン煮」。料理を彩る美しいソーサー類ももちろん(バカラ)製。2400円

今から15年前の2003年、東京で暮らす都市生活者にとってちょっとしたエポックメイキングな出来事があった。それは六本木ヒルズの開業。当時、なにかと話題を振りまいていた六本木ヒルズの中でも、けやき坂通りに誕生した「B bar」は特に大人の男たちを魅了した。創業1764年の(バカラ)によるバーは世界初。まばゆく光る(バカラ)のシャンデリアの下で、バカラクリスタルの美しいグラスを傾け、至高の1杯に酔いしれる。そんな賢達に憧れて、「B bar」に足を運んだ方も多いのではないだろうか。

現在「B bar」は、世界で丸の内、六本木、梅田の3店舗だけ。6月1日(金)~30日(土)までの1カ月間、同3店舗において15周年を記念した特別カクテル「エデン」が登場する。ベースとなるのはイタリア・サルディニア産のクラフトジン。このジンに含まれるフレッシュなジュニパーの香りが、リンゴの爽やかな酸味と絡み合い、それを卵白によるテクスチャーがやわらかくまとめている。もちろん、そんな味わいを引き立てるバカラクリスタルのほどよい重さと、グラスに口をつけたときの口当たりも相変わらず心地いい。また上記期間

中には、「B bar」のフードメニューを提供する軽井沢「エルミタージュ・ドゥ・タムラ」の特製トリュフチョコレートがゲスト全員にサーブされる。「B bar」での楽しみといえば、数あるバカラグラスの中から好みの1脚を選び、そのグラスに合ったカクテルをオーダーメイドで作ってもらうこと。1杯めに「エデン」を堪能したら、そんな「B bar」だけの密やかな楽しみもお忘れなく!

**B bar Roppongi**  
【バー 六本木】



DATA

東京都港区六本木6-12-1 六本木ヒルズ 六本木けやき坂通り ☎03-5414-2907 営業16:00~翌4:00(L.O.3:30) 日曜・祝日~24:00(L.O.23:30) ※施設休館日に準ずる